

2026 年 12 月 期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026 年8月 12 日
上場取引所 東

上場会社名 OOKABE GLASS株式会社
コード番号 5886 URL <https://ookabe-glass.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名)大壁 勝洋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名)酒井 佳世子 TEL 0776 (54)4557
中間発行者情報提出予定日 2026 年9月 30 日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026 年 12 月 期中間期の連結業績(2026 年1月1日～2026 年6月 30 日)

(1)連結経営成績(累計) (%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年 12 月 期中間期	710	1.6	57	△14.8	59	△12.1	40	△8.6
2025 年 12 月 期中間期	699	3.6	67	△23.4	68	△23.5	43	△25.0

(注)包括利益 2026 年 12 月 期中間期 46 百万円(10.9%) 2025 年 12 月 期中間期 42 百万円(△35.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026 年 12 月 期中間期	16.96	—
2025 年 12 月 期中間期	18.54	—

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026 年 12 月 期中間期	1,357	926	68.2
2025 年 12 月 期	1,293	879	68.0

(参考)自己資本 2026 年 12 月 期中間期 926 百万円 2025 年 12 月 期 879 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 12 月 期	0.00	0.00	0.00
2026 年 12 月 期	0.00		
2026 年 12 月 期(予想)		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026 年 12 月 期の連結業績予想(2026 年1月1日～2026 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,565	14.0	126	17.6	130	15.2	79	33.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間会計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026 年 12 月期中間期	2,372,200 株	2025 年 12 月期	2,372,200 株
② 期末自己株式数	2026 年 12 月期中間期	—	2025 年 12 月期	—
③ 期中平均株式数(中間期)	2026 年 12 月期中間期	2,372,200 株	2025 年 12 月期中間期	2,372,200 株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国の通商政策の影響が自動車産業を中心にみられるものの、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が継続しております。一方で、物価上昇に対する実質所得の伸び悩みなどを背景に、個人消費は当面横ばい圏内で推移するなど、その持ち直しには依然として力強さを欠いております。住宅業界においては、新設住宅着工戸数が持ち家を中心に前年を下回る状況が続く一方、「先進的窓リノベ 2026 事業」などの省エネ補助制度の継続実施により、リフォーム市場では堅調な需要が維持されております。また、当社グループが事業基盤とする EC 市場は、物流コストの上昇や価格競争の激化といった課題を抱えつつも、スマートフォン経由の取引を中心に拡大基調で推移しております。

このような状況の中、当社グループは『『良くする』に挑む』をミッションに掲げ、顧客ニーズに即した提案営業の強化を図ってまいりました。生産性の向上に向けては、業務の全領域において AI の活用を積極的に推進し、業務効率化と提案品質の向上に取り組みしました。また、メディアや SNS 等のデジタル媒体を活用した広報活動に一層注力し、当社ブランドの認知度及びブランド力の向上を図りました。さらに、仕入価格が上昇するなかにあっても、適切な価格転嫁と付加価値の高い提案の徹底により、客単価の向上に努めてまいりました。これらの取り組みの結果、受注件数は前年同期を下回ったものの、客単価の上昇により、当中間連結会計期間の売上高は前年同期を上回り、微増となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は 710 百万円(前年同期比 1.6%増)、営業利益は 57 百万円(同 14.8%減)、経常利益は 59 百万円(同 12.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は 40 百万円(同 8.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産の部)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 64 百万円増加し、1,357 百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 17 百万円増加し、431 百万円となりました。これは、主に前受金の増加によるものであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 46 百万円増加し、926 百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は、前連結会計年度末と比べ 55 百万円増加し、561 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は 71 百万円(前年同期は 46 百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益 58 百万円及び減価償却費 6 百万円の計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 4 百万円(前年同期は 98 百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 3 百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 12 百万円(前年同期は 12 百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出 7 百万円によるものです。

(3) 今後の見通し

2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記
(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025 年 12 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2026 年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	451,813	506,677
売掛金	84,656	100,974
商品	24,156	27,206
預け金	59,841	60,059
その他	22,023	5,771
貸倒引当金	△750	△862
流動資産合計	641,739	699,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	82,448	79,818
土地	256,559	256,559
その他(純額)	18,613	18,098
有形固定資産合計	357,621	354,476
投資その他の資産		
投資有価証券	77,588	87,670
長期貸付金	107,479	107,031
長期前払費用	56,255	56,202
保険積立金	27,949	28,028
繰延税金資産	1,930	2,051
その他	22,793	22,677
投資その他の資産合計	293,996	303,661
固定資産合計	651,618	658,137
資産合計	1,293,358	1,357,964

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025 年 12 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2026 年6月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,736	46,824
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	14,940	14,940
未払金	33,915	32,668
前受金	32,710	51,811
未払法人税等	22,418	23,233
未払消費税等	11,106	12,528
その他	24,860	32,304
流動負債合計	188,687	214,309
固定負債		
長期借入金	210,194	202,437
退職給付に係る負債	10,025	11,357
繰延税金負債	4,702	3,386
固定負債合計	224,921	217,181
負債合計	413,608	431,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	105,904	105,904
利益剰余金	742,150	782,375
株主資本合計	858,054	898,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,694	28,194
その他の包括利益累計額合計	21,694	28,194
純資産合計	879,749	926,474
負債純資産合計	1,293,358	1,357,964

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025 年1月 1 日 至 2025 年6月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026 年1月 1 日 至 2026 年6月 30 日)
売上高	699,250	710,356
売上原価	257,897	253,743
売上総利益	441,353	456,613
販売費及び一般管理費	373,878	399,157
営業利益	67,474	57,456
営業外収益		
受取利息	610	1,356
受取配当金	224	246
為替差益	—	139
ポイント還元収入	832	1,295
その他	461	709
営業外収益合計	2,128	3,748
営業外費用		
支払利息	1,029	1,283
為替差損	302	—
その他	130	—
営業外費用合計	1,462	1,283
経常利益	68,141	59,920
特別利益		
固定資産売却益	421	43
特別利益合計	421	43
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,478
特別損失合計	—	1,478
税金等調整前中間純利益	68,563	58,485
法人税、住民税及び事業税	25,372	23,287
法人税等調整額	△797	△5,026
法人税等合計	24,574	18,261
中間純利益	43,988	40,224
親会社株主に帰属する中間純利益	43,988	40,224

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025 年1月 1 日 至 2025 年6月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026 年1月 1 日 至 2026 年6月 30 日)
中間純利益	43,988	40,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,848	6,500
その他の包括利益合計	△1,848	6,500
中間包括利益	42,139	46,724
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	42,139	46,724
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025 年1月 1 日 至 2025 年6月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026 年1月 1 日 至 2026 年6月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	68,563	58,485
減価償却費	2,981	6,507
為替差損益(△は益)	302	△139
投資有価証券評価損	—	1,478
貸倒引当金の増減(△は減少)	60	112
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	652	1,332
助成金収入	—	△44
受取利息及び受取配当金	△834	△1,602
支払利息	1,029	1,283
固定資産売却益	△421	△43
売上債権の増減額(△は増加)	△10,453	△16,317
棚卸資産の増減額(△は増加)	7,105	△3,050
仕入債務の増減額(△は減少)	7,468	3,087
未払金の増減額(△は減少)	△17,416	△1,247
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,259	1,421
その他の増減額	5,754	40,823
小計	66,051	92,087
利息及び配当金の受取額	776	1,000
利息の支払額	△1,029	△1,283
助成金の受取額	—	44
法人税等の支払額	△19,666	△19,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,131	71,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△451	△3,362
有形固定資産の売却による収入	2,792	43
保険積立金の積立による支出	△79	△79
投資有価証券の取得による支出	△1,461	△1,470
貸付による支出	△100,000	—
その他の増減額	669	657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,530	△4,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7,757	△7,757
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,757	△12,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△302	139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,457	55,071
現金及び現金同等物の期首残高	583,172	506,853
現金及び現金同等物の中間期末残高	517,715	561,924

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは EC サイト開発運営事業を単一の報告セグメントとしているため記載を省略しております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。